

団体名  <b>糸満市立糸満南小学校</b>	連絡先 TEL : <b>098-994-7572</b> Eメール : minami@itomanms.city. itoman.Okinawa.jp
------------------------------	------------------------------------------------------------------------------------

## 1 実践事項 (①)

タイトル：「発達段階における海洋教育を通じた表現力の育成」

## 2 実践内容

令和3年度に海洋教育を学校全体で取り組み2年目となる今年度、各学年ごとに発達段階に応じた海洋体験活動等に取り組んだ。それぞれの体験活動後には、「糸満市教育の日」の授業参観での発表会に向けてICT等を活用してまとめ、表現力の育成を図った。

- 【1年生】・・・①学校近くの浜辺で、貝殻や漂流物（ゴミ）などの材料集め。  
→集めた材料を使って、各自で考えた楽器を作成。  
→作成した楽器を使用して、「きらきらぼし」の音楽発表会を開いた。
- 【2年生】・・・①沖縄水産高校の学生の講話を受け、学校近くの砂浜で貝殻や流木などの材料集め。  
→集めた材料を活用して、各自で考えた作品を図工の時間に制作。
- 【3年生】・・・①干潟観察を通して身近な干潟の生き物について調べ、レポートにまとめた。  
→海に関わる施設の見学・体験活動、講話を通して、糸満の海のひみつを発表した。
- 【4年生】・・・①金武ダムにて、職員の説明を受けながらダムの働きについて学んだ。  
②南浜公園のゴミ拾いから、ごみの種類や分別、環境について学んだ。  
→南浜公園の砂から、マイクロプラスチックを調査し、汚染の状況を確認した。  
③名護市のGODACとオンラインにて、海洋ゴミの現状についての講話を聞いた。  
④くる糸満にて、「石けんは人と海にやさしいの」の講話を聞いた。  
→これまでの学習で学んだことや、自分たちにできることをスライドで発表した。
- 【5年生】・・・①沖縄水産高校：奥田先生の講話「糸満の海の歴史・生き物について」  
②くる糸満見学 ③オルカ号乗船 ④南浜公園の海の様子と海洋ゴミの調査  
⑤イマイユ市場（高度衛生管理型施設）の見学  
→上記の体験を通して、自分たちの考えたこと(提案)をまとめて報告できた。
- 【6年生】・・・①沖縄水産高校（専攻科生徒）の講話 ②修学旅行でのマリンスポーツ体験  
③海岸探索（北名城ビーチと潮崎ビーチ）  
→人口ビーチと自然ビーチの違いに気づき、貝殻を拾ってフォトフレーム作り  
→1組；糸満造船所 2組；沖縄水産公社 3組；美々ビーチ 4組；沖水高校見学  
→見学した内容を各グループでスライドにまとめ、発表会を開き意見交流ができた。

## 3 資料（サバニ体験、高校生生の講話、ICTを活用した発表会）



## 4 成果

- ・発表会に向けた活動を通して、お互いの表現力（まとめ方、発表の仕方）の良さを共有できた。
- ・今年度は、児童の調べたことをまとめる力が身に付いたことで、自己肯定感の高まりが見られた。

## 5 課題

- ・グループ活動から、個々のテーマ設定・まとめ・表現力の育成へとつなげていきたい。
- ・次年度は、調べてまとめたことを効果的に伝える為の発信力の育成を図りたい。